

鍼灸臨床における医療面接のエスノメソドロジー

奥野友香・中恵真理子

1 はじめに

医療面接とは、患者が訴える苦しみに耳を傾け、病苦 (illness) をもたらした原因を探ること、病苦がその人にどのような意味を持っているのかを確かめるために交わされる患者との対話である。一方、問診とは、疾病 (disease) の診断に必要な病歴聴取を目的とした患者との会話である (丹澤 2002)。

鍼灸の基礎となる黄帝内経『素問』徴四失論篇七十六では、「診病不問其始，憂患飲食失節，起居之過度，或傷于毒，不先言此，卒持寸口，何病能中。妄言作名，為粗所窮。此治之四失也」(石田 1999) と疾病を診断する際に、その症状がいつ生じたのか尋ねずに、精神上の問題や飲食の不摂生，日常生活の乱れ，中毒の可能性などの初めに注意すべき問題をしっかりと尋ねずに，やみくもに診察をするようでは，正確な診断はできない。でまかせにいいかげんな病名を選ぶだけである。これは，大雑把な診察が招いた悪い結果であり，治療上における第四番目の失敗にあたと医療面接に関する記述があり，古来より鍼灸師が医療面接を実践してきたことが分かる。

外来診療において，医療面接から身体診察，鍼灸治療，治療評価までの治療過程は，現代医学と鍼灸治療の間に大きな違いはない。しかし，鍼灸治療では，約 40～60 分の全治療過程を一人の鍼灸師 (はり師，きゅう師の国家資格を有する施術者) が担当し，始終患者と対話を持ち，絶えず患者に触れているという特徴がある。

今回，エスノメソドロジー・会話分析から，鍼灸師と患者の会話を分析した。

2 調査概要

今回提示する「鍼灸師と患者の事例」は，2007 年 7 月某日の夕方から某鍼灸院の治療室で行われた。予備診療録 (予診録) の記入および医療面接のビデオ撮影データ (13 分 37 秒) によるものである。20 代後半の男性患者の佐藤さん (仮名) と鍼灸師の山田 (仮名) の 2 名の様子を DV カメラ 2 台で無人撮影した。治療院内の配置や人物位置は図 1 に示す。

佐藤さんは，某鍼灸院の本物の患者ではなく，本研究のための模擬患者として，今回初めて山田鍼灸師の鍼灸治療を受診した。佐藤さんの主訴 (今回の辛い症状) は，佐藤さんが実際に感じている症状であった。現在の仕事に従事するようになって，生活環境が変わってから，左側の肩こりを感じるようになった。医療面接では，山田鍼灸師が佐藤さんの

主訴を伺い、その部位（場所）を調べて、主訴の原因を探するために、既往歴（過去に罹患した病気や事故など）や仕事および生活状況を聴きだしている。

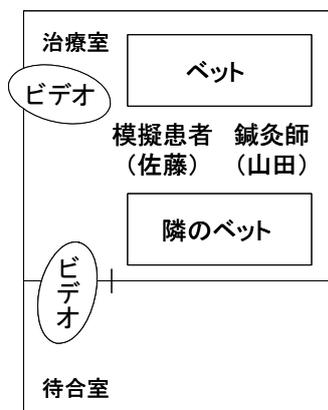


図1 治療院の配置および人物配置

3 鍼灸師と患者の会話分析

3.1 予診録を書いてもらう際の「じゃあ」と「はい」

鍼灸師の山田が初診患者の佐藤を治療室のベットサイドの丸椅子に誘導し、予診録を記入してもらう場面では、山田は「じゃあ」「では」「じゃ」「まず」(→1)という前置き成分を用いてターンを開始している。山田が佐藤を誘導後、その行為が行われた認識が可能な時点でターンが完了可能なために、最初の山田の「じゃあ(02)」を除く他の前置き成分は、佐藤の「はい」の直後に位置する(→2)。これらの「はい」では、山田の予診録を「書いていただけますか(12)」の依頼に、佐藤が「はい 分かりました(13)」と応じ(→4)、山田の「書けたら 教えて下さいね」の依頼に、佐藤が「はい」と受け入れている(→6)。この行為連鎖は、隣接ペア(adjacency pair)の「依頼-受け入れ/拒否」(Schegloff&Sacks 1973)であり、山田が初対面の佐藤に「よろしくお願ひします(02)」と挨拶すると、佐藤も「お願ひします(03)」と応える(→3)「挨拶-挨拶」や、予診録を座って書く佐藤に、山田がその姿勢が辛くないかどうかを尋ねる「大丈夫ですか(16)」に、佐藤が「大丈夫です(17)」と答える(→5)。「質問-応答」(串田 2006)もみられる。

【抜粋①：予診録を書いてもらう際の「じゃあ」と「はい」】

- 01 山田： ん ((咽の引っかかり感に対する咳払い))
- 1 02 山田： じゃあ 佐藤さん 本日担当します 山田と申します
- 3 よろしくお願ひします

- 2, 3 03 佐藤： あ はい お願いします
- 1 04 山田： じゃあ あの 中に あの
- 2 05 佐藤： はい
- 06 山田： どうぞ
- 2 07 佐藤： あ はい
- 1 08 山田： じゃあ こちらどうぞ
- 2 09 佐藤： はい
- 1 10 山田： じゃ すいませんが こちらにおかけになってもらって
- 2 11 佐藤： あ はい
- 1, 4 12 山田： まず ちょっと この予診録を 書いていただけますか
- 2, 4 13 佐藤： あ はい 分かりました
- 14 山田： 今 こうやって 座ってて
- 15 佐藤： し
- 5 16 山田： 書いてて 大丈夫ですか
- 5 17 佐藤： 大丈夫です
- 1 18 山田： じゃあ お願いしますね
- 2 19 佐藤： はい
- 6 20 山田： 近くにいますので 書けたら 教えて下さいね
- 6 21 佐藤： はい

3.2 触診を行う前の「ちょっと」

鍼灸の治療過程は、医療面接、身体診察、病態把握、治療方針の決定、鍼灸治療、治療評価から成る。鍼灸では、鍼灸師が患者の体に触れる行為（触診行為）が全治療過程で行われる。山田は佐藤が記入した予診録を基に、佐藤の主訴である「左側の肩こり」について聴いた後、詳しく症状や部位を確認するために「あ ちょっと 触りますね (49)」「ちょっと いいですか (51)」と佐藤に触れることを予め断って、佐藤の「はい」という受け入れを確認してから (→6, 7), 身体に触れている。

【抜粋②：触診を行う前の「ちょっと」】

- 40 山田： あの 今 どの辺がいちばん気になりますか
- 41 佐藤： し
- 42 佐藤： ん そうですね 肩 左なんですけど
- 43 山田： ん
- 44 佐藤： 左の

- 45 山田： ん あ その辺
 46 佐藤： こういった所と
 47 山田： はい
 48 佐藤： あと 左の背中ของ こういったとこ
 →6 49 山田： あ ちょっと触りますね
 →6 50 佐藤： はい
 →7 51 山田： ちょっといいですか
 →7 52 佐藤： はい
 53 山田： これですか
 54 佐藤： そう ですね

3.3 医療面接中の「はい」

3.3.1 あいづち、先取り完了

医療面接の質問では、開かれた質問 (Open ended Question) と閉ざされた質問 (Closed Question) を上手く使い分けて患者に質問することが求められる。開かれた質問では、患者が最も困っていること、一番訴えたいことが最初に出てくるので、患者の主訴を知ることができ、患者も「自由に話しをしている」という満足感を得る。閉ざされた質問は、答えを「はい」「いいえ」に限定したい場合に使う。面接では、患者の答えをきっちり聴く (傾聴) ことも重要である。傾聴とは、話し手が自由に自分を表現することを促進するような、言語的、非言語的なメッセージを送りながら聴くことで、沈黙、うながし (encouragement)、くり返し (rephrasing echoing)、明確化・言い換えの技法がある (齊藤 2000)。

山田が主訴に対してどのような対処をしているのか佐藤に尋ねる場面では、佐藤の「とくに無いんですけど (114)」「この辺がなんか嫌だな (116)」に山田が「うん (115)」「うんうん (117)」(→8, 9) とうながしの一つであるあいづちを打っており、ターンの途中で「先に進む促し (continuer)」(Shegloff 1982, Goodwin 1986) がみられる。

佐藤が自分の手が背部の主訴部位に届かないので、壁の角を使って「背中であぐる (122)」と答えると、山田は「はは 結構気持ちいいですよ (123)」「届かないし (125)」と先取り完了 (pre-emptive completion) を行い、佐藤が「そうですね (124)」「はい (126)」と承認する (→12, 13)「協動的ターン連鎖」(Lerner 2004) がみられる。

3.3.2 くり返し

傾聴のくり返しは、山彦式応答法とも呼ばれている (齊藤 2000)。この技法では、患者が言った言葉を医療従事者が繰り返すことで、患者が医療従事者の積極的関心を感じることができ、自分の考えの再確認や整理もできる。佐藤の「自分で手で押さえてみたりとか

(118)」に山田は「あ 手で押さえてみたりとか」とくり返している (→10). くり返し自体で新しい情報の内容は付け加わらないが, 鍼灸師が「あなたのおっしゃっていることを私は理解できました」というメッセージを患者に伝える (斉藤 2000) ので, 佐藤は「はい」と承認している (→11).

【抜粋③：医療面接中の「はい」】

- 109 山田： 肩のこり感も あの今の あの気になる所も 大体同じ3年位
110 佐藤： そうですね
111 山田： 前からですか ん 普段 あの どういう風にして
112 佐藤： うーん
113 山田： 対応されているんです
→8 114 佐藤： す とくに無いんですけど
→8 115 山田： うん
→9 116 佐藤： この辺がなんか嫌だな
→9 117 山田： うんうんうんうん
→10 118 佐藤： とかって思ってきたら 自分で手で押さえてみたりとか
→10 119 山田： あ 手で押さえてみたりとか
→11 120 佐藤： はい あとは こう 壁の かっこですよ あそこで
121 山田： あ
→12 122 佐藤： 背中であぐるぐる
→12 123 山田： はは 結構気持ちいいですよ
→12 124 佐藤： そうですね
→13 125 山田： 届かないし
→13 126 佐藤： はい
127 山田： あ そういう風にして対応されてるんですね

このターン連鎖は, 山田が佐藤に鍼灸治療の受診理由を尋ねる場面でも生じている. 佐藤は「ん やっぱマッサージの次は 鍼かなと思って (148)」と, マッサージの効果がないので鍼灸治療を受けるというよく初診患者から聴く理由を答え, 山田は「鍼かなと思って (149)」とくり返し, 佐藤が「第1段 あ はい (150)」と承認している (→14).

【抜粋④：医療面接におけるくり返しと「はい」】

- 147 山田： ん 今回あの 鍼治療 は どうして受けようと思われたんですか
→14 148 佐藤： ん やっぱマッサージの次は 鍼かなと思って

- 14 149 山田： 鍼かなと思って
→14 150 佐藤： 第1段 あ はい

山田が主訴と反対側の利き手である右側について佐藤に尋ねると、佐藤は「右は とくに感じないですね (221)」と答え、山田は「感じないですね (222)」とくり返しによる確認を行い、佐藤は「はい (223)」と応答している (→15)。主訴部位が安静時 (じつとした状況) でも気になるかと山田が尋ねると、佐藤は「気になって ついつい手がいっちゃって (229)」と答え、山田は「がいっちゃって 存在感があるっていうか (230)」とくり返しと明確化を行い、この先取り完了に佐藤が「そうですね はい」と承認している (→16)。

【抜粋⑤：医療面接中のくり返しと明確化】

- 218 山田： ま 今 左をおっしゃってたんですけども
219 佐藤： はい
220 山田： 右は とうですか
→15 221 佐藤： 右は とくに感じないですね
→15 222 山田： 感じないですね
→15 223 佐藤： はい
224 山田： じゃあ 今 左の先ほどの部分が 気になる
225 佐藤： そうです
226 山田： 何にもしていない 今の状態でも気になります
227 佐藤： やっぱり気になる
228 山田： あ なんか
→16 229 佐藤： 気になって ついつい手がいっちゃって
→16 230 山田： がいっちゃって 存在感があるっていうか
→16 231 佐藤： そうですね はい

山田が佐藤の約1時間の電車通勤を知り、首都圏の殺人的混雑状況を予想して車内の混み具合を尋ねると、佐藤は「ぎゅうぎゅうです (251)」と答えている。山田が「ぎゅうぎゅうの中を あの 通勤中の その 鞆とか (252)」のくり返しに加えて、通勤時の荷物について質問を行うと、佐藤は「はい (253)」と応答をしている (→17)。山田が佐藤に鞆の重さや持ち方を尋ねると、佐藤は「あー は ま 今右手で持ってて (255)」と答え、山田が「うん」と先に進む促しを行い (→18, 19)、佐藤が「疲れたら左手に持ってて (257)」と答えた際に、山田が「あ」と新規情報の獲得・発見の表示 (森山 1996, 田窪・金水 1997) の感嘆詞を用いて、佐藤が「交互に (259)」と言ったところで、山田が「してるんですね

(260)」と先取り完了を行って、佐藤が「はい (261)」と承認している (→20).

【抜粋⑥：医療面接の中のくり返しと先取り完了】

- 250 山田： 込み具合は とうですか
→17 251 佐藤： ぎゅうぎゅうです
→17 252 山田： ぎゅうぎゅうの中を あの 通勤中の その 鞆とか
→17 253 佐藤： はい
254 山田： 荷物っていうのは あの どっちで掛けたりとか
重さが重いかありますか
→18 255 佐藤： あー は ま 今右手で持ってて
→18 256 山田： うん
→19 257 佐藤： 疲れたら左手に持ってて
→19 258 山田： あ
→20 259 佐藤： 交互に
→20 260 山田： してるんですね
→20 261 佐藤： はい

山田が主訴の増悪因子がパソコンの長時間の使用であることを確認する場面では、佐藤の辛さが「やっぱ くるような気がします (280)」の答えに、山田は「感じがします (281)」と言い換えに続けて、「パソコンの位置とかはどうです ちょっとこう体 (282)」と質問をしているが、佐藤の承認はない (→21). 佐藤のパソコンの位置は「は 真正面です (285)」の答えに、山田が「あ 真正面に使ってますね 大体どれ位 1日どれ位向かってます (286)」と佐藤の承認を待たずに質問している (→22). 佐藤の「うーん 4～5時間は向かってます (287)」との答えに、山田が「4～5時間は向かってます (288)」とくり返しで確認すると、佐藤は「はい (289)」と応答している (→23). その際に身体を伸ばす行為をしているかという山田の質問に、佐藤が「やっぱ 気になると やっぱ そうやって色々 動かしたり (295)」と答え、山田が「こう 動かしてます 動かしてみても どうですか (296)」とくり返しの直後に質問をすると、「うーん なんか 痛気持ち良いような (297)」と答え、山田が「あ 痛気持ち良いような感じ (298)」とくり返しで確認をすると、佐藤は「はい (299)」と承認している (→24).

【抜粋⑦：医療面接中のくり返しと質問】

- 276 佐藤： パソコン 結構使うんですけど
277 山田： あ はい

- 278 佐藤： それが やっぱ パソコン辛く 使う時間が長いと
 279 山田： うん
 →21 280 佐藤： やっぱ くるような気がします
 →21 281 山田： 感じがします
 →21 282 山田： パソコンの位置とかはどうです ちょっとこう体
 283 佐藤： ああ
 284 山田： 捻って使っているとか
 →22 285 佐藤： は 真正面です
 →22 286 山田： あ 真正面に使ってますね 大体どれ位 1日どれ位
 向かってます
 →23 287 佐藤： うーん 4～5時間は向かってます
 →23 288 山田： 4～5時間は向かってます
 →23 289 佐藤： はい
 290 山田： その間 自分でこう ストレッチ したりとか
 291 佐藤： ああ
 292 山田： 肩 腕 伸ばしたりとかってというのは
 293 佐藤： は そうですね するようには 心がけていて
 294 山田： うん はい
 →24 295 佐藤： やっぱ 気になると やっぱ そうやって 色々 動かしたり
 →24 296 山田： こう 動かしてます 動かしてみても どうですか
 →24 297 佐藤： うーん なんか 痛気持ち良いような
 →24 298 山田： あ 痛気持ち良いような感じ
 →24 299 佐藤： はい

3.3.3 患者の先取り完了

医療面接後、山田が佐藤に脱衣を促す場面では、「あ じゃあ えーとですね ん その観察 を色々(380)」「あの それが あの 出来るように えーと 上半身ですね(384)」「あの ちょっと こう 見えるように(386)」など前置き成分や間隔が多く(→25)、山田の上半身裸に「あの なってもらえますか(388)」のターン開始に佐藤が「あ 普通に服も 上(389)」「脱いじゃって(391)」と先取り完了を行い、山田が「あ そうですね(390)」「うん お願いします で こちらにですね(392)」と承認している(→26, 27).

【抜粋⑧：患者の先取り完了】

- 25 380 山田： あ じゃあ えーとですね ん その 観察 を色々
381 佐藤： はい
382 山田： 身体 観察 体の観察をしますので
383 佐藤： はい
→25 384 山田： あの それが あの 出来るように えーと 上半身ですね
385 佐藤： はい
→25 386 山田： あの ちょっと こう 見えるように
387 佐藤： あ はい
→26 388 山田： あの なっていただけますか
→26 389 佐藤： あ 普通に 服も 上
→26 390 山田： あ そうですね
→27 391 佐藤： 脱いじゃって
→27 392 山田： うん お願いします で こちらにですね
393 佐藤： はい
394 山田： あの 入れて下さったら結構なので
395 佐藤： あ はい

4 鍼灸師と患者の配慮と遠慮

4.1 鍼灸師と患者の話し手の交代

予診録記入の場面では、挨拶や依頼など、隣接ペアによる行為の結びつきがみられた。医療面接では、面接技法が使われて、隣接ペアが複数組み合わせられた行為連鎖が組織された（拡張連鎖）。傾聴の明確化・言い換えには、鍼灸師の先取り完了が行われた。先取り完了がターン開始者に発せられると、ターン開始者は自分に先取り完了を承認／否認する権限があると見なして、日本では、「うん」「そう」がよく使われる（串田 2006）。鍼灸臨床の医療面接においても、鍼灸師と患者の話し手の交代がターン開始者の「参加機会の内部で」生じ、協動的ターン連鎖がみられた（図 2）。

- 01 患者： ターン構成の開始
02 鍼灸師： （鍼灸師が開始したターン構成単位の）先取り完了
03 患者： （患者が行った先取り完了の）承認／否認

図 2 鍼灸師と患者の協動的ターン連鎖

ターン構成単位の開始にくり返しが行われると、ターン開始者の承認が生じた（図 3）。これは、鍼灸師の「理解できました、分かりました」に対する患者の承認であった。

- 01 患者： ターン構成の開始
- 02 鍼灸師： （患者が開始したターン構成単位の）くり返し
- 03 患者： （鍼灸師が行ったくり返しの）承認／否認

図 3 くり返しに対する承認／否認

ターン構成単位の開始にくり返しが行われても、次ぎに質問が続く場合は、ターン開始者の承認／拒否が生じず、隣接ペアの質問に対する応答がみられた（図 4）。

- 01 患者： ターン構成の開始
- 02 鍼灸師： （患者が開始したターン構成単位の）くり返し
- 03 鍼灸師： 質問
- 04 患者： （鍼灸師が行った質問の）応答

図 4 くり返しに続く質問に対する応答

医療面接における鍼灸師と患者の話し手の交代は、多くの場合に患者のターン開始に鍼灸師が先取り完了を行い、患者が承認する場面がみられた。しかし、医療面接後、身体診察に移るために鍼灸師が患者に脱衣を促す場面では、患者が先取り完了を行った（図 5）。

- 01 鍼灸師： ターン構成の開始
- 02 患者： （鍼灸師が開始したターン構成単位の）先取り完了
- 03 鍼灸師： （患者が行った先取り完了の）承認／否認

図 5 患者の先取り完了

4.2 鍼灸師と患者における侵襲行為に対する遠慮と配慮

通常、他人の身体に触れる行為は認められていない。しかし、医師や看護師、理学療法士、はり師、きゅう師、あん摩マッサージ指圧師などの医療従事者達は、職務上において、触診行為が認められている。全治療過程において、絶えず患者に触れている特徴がある鍼灸師であっても、身体に対する診察は、常に当惑を引き起こす可能性を持つ（高山 1995）ことから、触診を行う前に医療従事者の患者に対する侵襲行為を断る標準的な言い回しである「ちょっと」を用いていた。

患者は、医療面接に続く身体診察および鍼灸治療、治療評価における触診行為のために、

鍼灸師に肌を見せなくてはならない。医療では、身体診察における当惑は、他人が自分の身体を単に見るだけでなく、他人が見ていることを見てしまうことで生じるので、医師は患者の着脱行為を見ないように努力し、患者もその際に医師を見ないように努力している(高山 1995)のであるが、鍼灸師は患者の主訴による日常生活動作の影響を知るために、患者の着脱動作を積極的に見る場合もある。しかし、今回は異性の若い初診患者に対して、鍼灸師は「身体診察を行うので、服を脱いで上半身裸になって下さい」とは直接言わずに、前置き成分や間隔によって「上半身が見えるようになってもらえますか」と遠回しに脱衣を依頼し、患者が「上半身の服を脱ぐ」ことを先取り完了して、鍼灸師がその承認をしている。この患者による先取り完了は、鍼灸師の侵襲行為の当惑に対する遠慮したターン構成の開始が進行性の滞りを生み、患者に先取り完了の機会を与えた。

5 鍼灸師と患者の相互期待

5.1 鍼灸師による患者の体験のひもとき

患者から、主訴を具体的に聞いたり、主訴の背景となるような具体的な生活習慣や病歴を聞き出すためには、開かれた質問や閉ざされた質問以外にも患者の体験を先取りした発話をして、患者の体験をひもとかせるように語らせていく技法がある。先ほどの抜粋⑤をもう一度みてみよう。

【抜粋⑤：医療面接中のくり返しと体験の先取り】

218 山田： ま 今 左をおっしゃっていたんですけども

219 佐藤： はい

220 山田： 右は どうですか

221 佐藤： 右は とくに感じないですね

222 山田： 感じないですね

223 佐藤： はい

224 山田： じゃあ 今 左の先ほどの部分が 気になる

225 佐藤： そうです

226 山田： 何にもしていない 今の状態でも気になります ((笑いながら))

227 佐藤： やっぱり気になる

228 山田： あ なんか ((笑いながら))

229 佐藤： 気になって ついつい手がいつちゃって ((笑いながら))

230 山田： がいつちゃって 存在感があるっていうか

231 佐藤： そうですね はい ((笑いながら))

((通勤電車の話へと移る))

佐藤の主訴は利き手の右ではなく左であることを確かめると (221), (224) それがどのような痛みなのか, 痛み方の具合を尋ね始める (226). そのとき山田は佐藤に向けて微笑みながら発話している. 佐藤が「やっぱり気になる (227)」と山田の問いを「はい」「いいえ」の二者択一式の質問と捉えた答え方をすると, ここで山田は「あ なんか」と笑いながら佐藤の具体的な痛みの状態を先取りし始めるような発話をする. このときも山田は笑いながら発話している.

ここで, この文脈の中での「あ なんか (228)」の果たしている役割について考えてみよう. 「あ」が知識状態の変化を表す *change of stoken* だと考えると, 山田にとって佐藤の痛みがどのような具合なのかは今分かり, それをどのように表現すべきかを, 「なんか」と置くことによって, 探索し始めているととるのが順当である. 山田が本当に痛みの具合が分かっていたのか, それとも技法上のものかはここでは問わない. ただこの文脈での働きを見ると, 痛むことを確認した (227) 上で, 次に痛み方がどのような様子なのか聞きだす働きをしているのである. 佐藤は, 山田の「あ なんか」を鍼灸師 (専門家) による患者の痛み方の探索の開始だと受け取ることによって, それを助けるように「気になって ついつい手がいっちゃって (229)」と笑いながら応戦する. ここで (229) の佐藤の発話を, 山田のうながしによる, 佐藤が本来答えるべき発話と考えると, 先で述べたように, (230) の山田の発話は先取り完了ととることができる. しかし山田の探索の発言の終了, 「あ なんか 気になって ついつい手がいっちゃって 存在感があるっていうか」という, 間に患者佐藤の手助けが入った一つの発話として聞くなら, 「そうですね はい (231)」は, 山田の探索の全体に対する承認だということになる.

5.2 笑いによる相互期待の達成

抜粋⑤を「笑い」に焦点をあてて分析してみると, 鍼灸師による患者の体験のひもときは, 鍼灸師と患者とが鍼灸に対して前提として持っている相互期待から可能になっているように見えてくる.

寺尾 (1999) によると, 「笑い」は次のような場面で使われることがある. 1) 笑いは共同的に達成される, 2) 提案の受諾, 3) 枠組みの承認, 4) 「人間の体の態度, 身振り, そして運動」が機械を思わせる程度によって笑う, 5) オチで笑う. あるいはオチだったことが判明して笑う. この中で1) は「笑い」の前提となるものである. (226) (228) は何の前触れもない笑い (微笑みに近い) であるように見えるが, (229) の佐藤の笑いは, 明らかに山田がなそうとしていること (佐藤の痛み方を山田が分かっておりその表現の仕方を探索しようとしていること) が分かったという2) 提案の受諾である. そうだとすれば, (226) (228) は佐藤が語っていない佐藤の痛み方を鍼灸師の私は分かっている (先取

りされた 3) 粋組みの受諾) という意味を帯びる。「微笑みというものが親しみを表すために用いられる」と一般に言われているのは、このような構図にあるのかもしれない。

以上のように考えれば「笑い」は「鍼灸師は患者の痛みに対して知識があること」を前提として達成されているのは明らかである。鍼灸師による患者の体験のひもときは、このようにして可能だったのである。

5.3 「鍼灸師は患者が語っていない生活習慣についても知っている」という期待

続けて、「笑い」に焦点をあてて抜粋⑥を分析すると、別の、鍼灸師と患者の間にある相互期待が見えてくる。抜粋⑥をもう少し前の部分から見ていく。

【抜粋⑥ 鍼灸師の先取りした質問】

- 248 山田： あ そういう時は つり革持っていたりとかして
249 佐藤： そう しますね
250 山田： 込み具合は どうですか
251 佐藤： ぎゅうぎゅうです ((笑いながら))
252 山田： ぎゅうぎゅうの中を あの 通勤中の その 鞆とか
253 佐藤： はい
254 山田： 荷物っていうのは あの どっちで掛けたりとか
重さが重いとかありますか
255 佐藤： あー は ま 今右手で持ってて ((笑いながら))
256 山田： うん ((笑いながら))
257 佐藤： 疲れたら左手に持ってて ((笑いながら))
258 山田： あ
259 佐藤： 交互に
260 山田： してるんですね
261 佐藤： はい

(248) で山田は通勤電車の中での様子を尋ねている。しかし尋ね方は「つり革持っていたりとかして」というふうに、予測をした言い方になっている。(249) で山田の予測に佐藤が肯定すると、(250) で再び山田は「込み具合は どうですか」と尋ねる。発話連鎖上 (248) (予測) → (249) (肯定) から、(250) (予測) → の後に来る (251) の答えも (肯定) がくるものという期待が相互に明瞭である。そうすると (251) の通常の肯定より強調されたニュアンスを持って聞こえる、この笑いを帯びた「ぎゅうぎゅうです」という患者佐藤の返事は、意味の連鎖からくる肯定だけでなく、発話連鎖上の期待通り、肯定ですという意味を含んでいるように、聞こえる。

この文脈での「ぎゅうぎゅうです」の笑いは、鍼灸師による患者の生活習慣に対する予測を承認した3) 枠組みの承認から生まれる笑いと捉えることができる。この笑いの達成を可能にしているのは、鍼灸師（専門家）は患者（素人）に対して、主訴から患者がまだ語っていない生活習慣に対しての知識があるという暗黙のうちに了解されている「期待」についての知識と見ることができよう。これは専門家－素人の関係で考えれば、それほど不思議な期待でもない。また後でも専門家－素人の連鎖は見て取れる。(259)の佐藤の「交互に」というのは、(258)に表示された山田の佐藤に対する生活習慣への理解を語ることを、引き受けていると同時に、発話の終了を(260)の山田に譲っている。これは佐藤の素人としての振る舞いを適切かつ理解可能なものになっている。

5-4 鍼灸における期待の文化

以上、鍼灸の医療面接における、了解された期待を見てきた。一つは、「鍼灸師は患者の痛みに対して知識がある」ということと、「鍼灸師は患者が語っていない生活習慣に対して知識がある」というものである。こうした期待が西洋医学における専門家－素人間で了解された期待と比較したとき、どれだけ異なっているかについては、さらに多くの事例の研究が必要であろう。しかしそうした研究の一端は示すことが出来たのではないかと思う。

〔文献〕

- 石田秀美・白杉悦雄監訳、1999、『南京中医薬大学編 現代語訳黄帝内経靈枢』東洋学術出版社。
- 檜田美雄、2004、「エスノメソドロジー・会話分析からみた医師と患者の会話－患者の同意の共同的達成－」『保健医療社会学論集』14, 2.
- 串田秀也・定延利之・伝康晴編、2005、『活動としての文と発話』ひつじ書房。
- 串田秀也、2006、『相互行為秩序と会話分析：「話し手」と「共－成員性」をめぐる参加の組織化』世界思想社。
- 水川喜文、1993、「自然言語におけるトピック転換と笑い」『ソシオロギス』17.
- 中村和生・檜田美雄、2004、「＜助言者－相談者＞という装置」『社会学評論』55, 2.
- 斉藤清二、2000、『はじめての医療面接』医学書院。
- 高山啓子、1995、「CSCW と相互行為分析－テクノロジーのエスノメソドロジー」『現代社会学理論研究』5 : 108－110.
- 丹澤章八、2002、『鍼灸臨床における医療面接』医道の日本社。
- 寺尾香名子、1999、「演芸場にみる笑いの協同的達成」『エスノメソドロジーと福祉・医療・性－平成10年度徳島大学総合科学部檜田ゼミナール ゼミ論集』徳島大学総合科学部社会学研究室。

資料（トランスクリプト）

場面① 誘導・予診録の記入

No.	話者	会話（山田：鍼灸師，佐藤：模擬患者，共に仮名）
01	山田	ん（咽の引っかかり感に対する咳払い）
02	山田	じゃあ 佐藤さん 本日担当します 山田といたします よろしく申し上げます
03	佐藤	あ はい 申し上げます
04	山田	じゃあ あの 中に あの
05	佐藤	はい
06	山田	どうぞ
07	佐藤	あ はい
08	山田	じゃあ こちらどうぞ
09	佐藤	はい
10	山田	じゃ すいませんが こちらにおかけになってもらって
11	佐藤	あ はい
12	山田	まず ちょっと この予診録を 書いていただけますか
13	佐藤	あ はい 分かりました
14	山田	今 こうやって 座ってて
15	佐藤	し
16	山田	書いてて 大丈夫ですか
17	佐藤	大丈夫です
18	山田	じゃあ 申し上げますね
19	佐藤	はい
20	山田	近くにいますので 書けたら 教えて下さいね
21	佐藤	はい

場面② 医療面接

No.	話者	会話（山田：鍼灸師，佐藤：模擬患者，共に仮名）
22	山田	どうです 分からないとことかがあったら
23	佐藤	あ はい
24	山田	言って下さいね
25	佐藤	はい こんなもんで どうですかね
26	山田	あ はい

27	山田	あ はい ちょっと 見せて下さいね
28	佐藤	はい
29	山田	肩と
30	佐藤	はい
31	山田	あと 背中
32	佐藤	そうですね
33	山田	ですね
34	山田	で だいたい 3年位前から
35	佐藤	はい
36	山田	じゃ ちょっと あの 詳しく
37	佐藤	はい
38	山田	あの お話を伺いたいんですけども
39	佐藤	はい
40	山田	あの 今 どの辺がいちばん気になりますか
41	佐藤	し
42	佐藤	ん そうですね 肩 左なんですけど
43	山田	ん
44	佐藤	左の
45	山田	ん あ その辺
46	佐藤	こういった所と
47	山田	はい
48	佐藤	あと 左の背中のこういったとこ
49	山田	あ ちょっと触りますね
50	佐藤	はい
51	山田	ちょっといいですか
52	佐藤	はい
53	山田	これですか
54	佐藤	そう ですね
55	山田	あ 左の方が張ってますね
56	佐藤	そう
57	山田	つまんでみると
58	佐藤	はい
59	山田	ちょっと これが硬いですね
60	佐藤	ああ

61	山田	あと これですか
62	佐藤	そうですそうです
63	山田	ちょっと待って下さい
64	佐藤	はい
65	山田	ちょっと軽く
66	佐藤	はい
67	山田	ん こっちの手を後ろ手にできます
68	佐藤	こう ですか
69	山田	そうそう そうそう
70	山田	辛くないです
71	佐藤	大丈夫です
72	山田	大丈夫です
73	佐藤	ん では 元に戻して下さい
74	山田	この位置か
75	佐藤	し
76	佐藤	はい
77	山田	こっちの位置かどっちです
78	山田	一番目
79	佐藤	最初の そうです
80	山田	二番目
81	山田	一番目
82	佐藤	一番目ですね
83	山田	そうすると 肩甲骨の内側 の 際ですね
84	佐藤	あ はい
85	山田	これが3年位前から
86	佐藤	そうですね
87	山田	なんかきっかけとか 何か ん 憶えてることとかあります
88	佐藤	ちょっと 生活の環境が変わった
89	山田	あ はい ん ん
90	佐藤	位で 後はとくに ぶつけたとかそういったことは無いんで
91	山田	ことは無いって
92	佐藤	はい
93	山田	なんか どんな風に変わ 生活の環境が変わった感じがします
94	佐藤	今まで学生 専門学校の学生だったんですけど

95	山田	ん あ はい
96	佐藤	ちょっと それ で取った免許で し仕事するようになって
97	山田	ん ん ん
98	佐藤	それであと 住む所も変わったんですよ
99	山田	あ なるほどなるほど
100	佐藤	はい
101	山田	じゃあ あの 学生さんから社会人になったりとか
102	佐藤	はい
103	山田	あと あの 住んでらっしゃる場所も
104	佐藤	そうですね はい
105	山田	変わったりとかされて それから感じるようになられたんですね
106	佐藤	そうですね
107	山田	肩 結構 かなり凝っていらっしゃるんですけど
108	佐藤	はい
109	山田	肩のこり感も あの今の あの気になる所も 大体同じ3年位
110	佐藤	そうですね
111	山田	前からですか ん 普段 あの どういう風にして
112	佐藤	うーん
113	山田	対応されているんです
114	佐藤	す とくに無いんですけど
115	山田	うん
116	佐藤	この辺がなんか嫌だな
117	山田	うんうんうんうん
118	佐藤	とかって思ってきたら 自分で手で押さえてみたりとか
119	山田	あ 手で押さえてみたりとか
120	佐藤	はい あとは こう 壁の かどっこですよ あそこで
121	山田	あ
122	佐藤	背中であぐるぐる
123	山田	はは 結構気持ちいいですよ
124	佐藤	そうですね
125	山田	届かないし
126	佐藤	はい
127	山田	あ そういう風にして対応されてるんですね
128	山田	ん 例えば あの これの こういった状況で

129	佐藤	はい
130	山田	マッサージの方とか受けてたりとか
131	佐藤	はい
132	山田	あの 他の
133	佐藤	はい
134	山田	医療機関とか受けてたりしたことがありますか
135	佐藤	そう いったん あの デパートの中にあるマッサージ屋さんですよ
136	山田	ああ はい
137	佐藤	ああいった所であの やってもらったことがあるんですけど どうも押されるのが 痛くって
138	山田	あ 痛くって
139	佐藤	で で とくに 楽にもならなかったの
140	山田	うんうん
141	佐藤	行かなかったんですけど
142	山田	あ そうなんですね
143	佐藤	はい
144	山田	その後 どんな感じでした やってもらったあと
145	佐藤	は 全然変わんなかったです
146	山田	あ 余り変わらなかったですか
147	山田	ん 今回あの 鍼治療 は どうして受けようと思われたんですか
148	佐藤	ん やっぱマッサージの次は 鍼かなと思って
149	山田	鍼かなと思って
150	佐藤	第1段 あ はい
151	山田	鍼って 今まで受けたことがあります
152	佐藤	えーとですね 高校1年生の時に
153	山田	うん
154	佐藤	ちょっと ギックリ腰って言うんですか
155	山田	あ はい
156	佐藤	あの ちょっと やっちゃって
157	山田	はい
158	佐藤	階段上がる 階段昇る時も辛かったんで
159	山田	あ うん はい
160	佐藤	その時に 3回位やってます
161	山田	3回位

162	佐藤	はい
163	山田	その時 どうでした
164	佐藤	は 直ぐは 良くなんなかったんですけど 気がついたら良くなってた
165	山田	あ
166	佐藤	みたいな 感じだったので
167	山田	そういう風な 自然に こう 治っていった
168	佐藤	し うーん なんか 鍼が良かったのか
169	山田	うん なのか どっちかなっていう
170	佐藤	分かんないですけど
171	山田	その時 鍼は とくに 怖いとか ま 鍼って 刺しますから
172	佐藤	はい
173	山田	怖いとか 何か こう あの 気になったこととかは
174	佐藤	うーん 怖くはなかったですけど
175	山田	うん
176	佐藤	痛かったなっていう
177	山田	あ 痛かったって
178	佐藤	のを憶えてます
179	山田	感じがします
180	山田	あの 今日する鍼は あの 痛くない鍼をしますので
181	佐藤	はい
182	山田	あのもし あの 少しでも痛かったら あの それは やり直しますから
183	佐藤	はい
184	山田	あの 言って下さい
185	佐藤	あ お願いします
186	山田	で あの ん 鍼は ほんとに 刺さない鍼から
187	佐藤	はい
188	山田	あの 刺す鍼とか 刺した鍼に お灸をしたりとか
189	佐藤	はい
190	山田	えーと 電気をあてたり
191	佐藤	はい
192	山田	とかって 幅が 広いんですね
193	佐藤	はい
194	山田	で ま 久しぶりだっていうこともありますので 先ずは刺さない鍼から 少しずつ あの 強さを 決めていきますので

195	佐藤	はい
196	山田	で あの日本の鍼って あの 鍼自身が痛くないように作ってあるんで
197	佐藤	はい
198	山田	もしあの 痛いなって思うことがあったら 遠慮なく言って下さい
199	佐藤	あ はい 分かりました
200	山田	ん で 時々 その わざと
201	佐藤	はい
202	山田	痛いというよりも 響かせるという
203	佐藤	はい
204	山田	ことを することがあるんですが
205	佐藤	はい
206	山田	先ずは 今回の佐藤さんの症状で あの そういう風なことを使うことは ないと思います 今日
207	佐藤	ああ
208	山田	はい ですから ま あの 痛いな なんか 変だなって思ったら 兎に 角 遠慮なく何でも言って下さい
209	佐藤	はい
210	山田	あと あの ん 鍼も使い捨ての鍼を使っていますし 消毒もきちっとやり ますので あの 衛生面とか感染に関しても
211	佐藤	はい
212	山田	あの 大丈夫ですので
213	佐藤	あ はい
214	山田	はい
215	佐藤	分かりました
216	山田	あと その ん んーと 肩と ま その え 背中なんですけど
217	佐藤	はい
218	山田	ま 今 左をおっしゃってたんですけれども
219	佐藤	はい
220	山田	右は どうですか
221	佐藤	右は とくに感じないですね
222	山田	感じないですね
223	佐藤	はい
224	山田	じゃあ 今 左の先ほどの部分が 気になる
225	佐藤	そうです

226	山田	何にもしていない 今の状態でも気になります
227	佐藤	やっぱり気になる
228	山田	あ なんか
229	佐藤	気になって ついつい手がいっちゃって
230	山田	がいっちゃって 存在感があるっていうか
231	佐藤	そうですね はい
232	山田	あの ん それ以外で
233	佐藤	はい
234	山田	例えば 体を 日常生活の中で 体を動かして 更にそれが こう辛くなったとか 強くなるなってことはありますか
235	佐藤	あ 仕事場まで 電車で行くんですけど
236	山田	あ はい
237	佐藤	で 電車で 立ちで座って行く分にはいいんですけど
238	山田	うん
239	佐藤	立ちで
240	山田	うん
241	佐藤	1時間位の距離の
242	山田	はい はい
243	佐藤	移動が何日か重なり
244	山田	はい
245	佐藤	続くと
246	山田	はい
247	佐藤	辛くなりますね はい
248	山田	あ そういう時は つり革持っていたりとかして
249	佐藤	そう しますね
250	山田	込み具合は どうですか
251	佐藤	ぎゅうぎゅうです
252	山田	ぎゅうぎゅうの中を あの 通勤中の その 鞆とか
253	佐藤	はい
254	山田	荷物っていうのは あの どっちで掛けたりとか 重さが重いとかありますか
255	佐藤	あー は ま 今右手で持ってて
256	山田	うん
257	佐藤	疲れたら左手に持ってて

258	山田	あ
259	佐藤	交互に
260	山田	してるんですね
261	佐藤	はい
262	山田	あの ちなみに利き手はどちらですか
263	佐藤	は 右手です
264	山田	右手ですね
265	山田	ん あと お仕事 お仕事に関してなんですけども
266	佐藤	はい
267	山田	その ま 肩が凝るような ま
268	佐藤	はい
269	山田	お仕事の内容が
270	佐藤	はい
271	山田	あの 肩がこるようなとか 今の所が痛くなるようななんか
272	佐藤	はい
273	山田	関係してるかどうか
274	佐藤	そうですね
275	山田	はい
276	佐藤	パソコン 結構使うんですけど
277	山田	あ はい
278	佐藤	それが やっぱ パソコン辛く 使う時間が長いと
279	山田	うん
280	佐藤	やっぱ くるような気がします
281	山田	感じがします
282	山田	パソコンの位置とかはどうです ちょっとこう体
283	佐藤	ああ
284	山田	捻って使っているとか
285	佐藤	は 真正面です
286	山田	あ 真正面に使ってますね 大体どれ位 1日どれ位向かってます
287	佐藤	うーん 4~5時間は向かってます
288	山田	4~5時間は向かってます
289	佐藤	はい
290	山田	その間 自分でこう ストレッチ したりとか
291	佐藤	ああ

292	山田	肩 腕 伸ばしたりとかってというのは
293	佐藤	は そうですね するようには 心がけていて
294	山田	うん はい
295	佐藤	やっぱ 気になると やっぱ そうやって 色々 動かしたり
296	山田	こう 動かしてます 動かしてみて どうですか
297	佐藤	うーん なんか 痛気持ち良いような
298	山田	あ 痛気持ち良いような感じ
299	佐藤	はい
300	山田	あの 普段 運動とか
301	佐藤	はい
302	山田	体動かすことはなされていますか
303	佐藤	は あまりしていません
304	山田	お休みの日とかも
305	佐藤	はい ほとんどやって無いです
306	山田	過去に あの 運動していたこととかってというのは
307	佐藤	ま 小・中と野球やった位で あとは そんなに 何もやって無いです
308	山田	その時 肩 痛めたとか
309	佐藤	あ 小学校の時
310	山田	うん
311	佐藤	からずっと 肩 肩は ま 右投げなんですけど
312	山田	あ はい 右の肩
313	佐藤	あ はい たくさん投げると 痛くなるんで あんまりたくさん投げない ようには してますね
314	山田	してるんですね あの 今までで 大きな病気 とか
315	佐藤	はい
316	山田	あの ま 憶えているような
317	佐藤	はい
318	山田	何か ま 事故とか
319	佐藤	はい
320	山田	怪我とかがあったら 教えてもらいたいんですけども
321	佐藤	10年 位前に
322	山田	うん
323	佐藤	手を火傷しちゃいまして
324	山田	あ はい

325	佐藤	で ちょっと 皮膚移植 したんですけど
326	山田	あ ああ 大変ですね
327	佐藤	はい それ以外は
328	山田	うん
329	佐藤	とくに無かったですね
330	山田	とくに無いですか
331	佐藤	はい
332	山田	そうか ん そうすると うーん 今日は 先ず あの ま 肩と
333	佐藤	はい
334	山田	その ま 肩甲骨の後ろってということなんですけれども
335	佐藤	はい
336	山田	あの 頰が関係しているのか
337	佐藤	はい
338	山田	それとも あの 肩甲骨 っていうのは
339	佐藤	はい
340	山田	あの 腕を こう動かしたりとかする時なんかも
341	佐藤	はい
342	山田	そういった筋肉に影響がありますので あの 肩とか 腕が関係してるの かっていうような
343	佐藤	はい
344	山田	ま 検査などを ちょっとこう 色々 体を動かしてもらって
345	佐藤	はい
346	山田	で それで あの 原因が 何からきているのかっていうのを 先ず調べ ます
347	佐藤	あ はい
348	山田	で それで えっと ま 今日は初めてなので で 鍼も ま 久しぶり ということですので あの 今日は 刺激量をなるべく
349	佐藤	はい
350	山田	抑えた状態で えーと 徐々に 先ず 痛くないように
351	佐藤	はい
352	山田	対応していきたい
353	佐藤	あ
354	山田	と思います
355	佐藤	あ はい お願いします

356	山田	で あとは ま 筋肉ですね ま 主に えー これから調べていって 筋肉が問題だったら ま 筋肉を緩めていく
357	佐藤	はい
358	山田	そういう風な ま 方法で あの 行いたいと
359	佐藤	はい
360	山田	思います
361	佐藤	分かりました
362	山田	で 鍼は あの うちの所では 体質を改善するような
363	佐藤	はい
364	山田	鍼もやっているんですけれども
365	佐藤	ああ
366	山田	今日は 先ず
367	佐藤	はい
368	山田	あの 筋肉であるとか 骨格を
369	佐藤	はい
370	山田	中心とした 治療方法
371	佐藤	はい
372	山田	で やってみて で ま その後 あの その うーん いい状態を持た せるっていう意味で あの 体質改善の その鍼の治療も それに追加 していこうと 思っていますので
373	佐藤	あ はい 分かりました
374	山田	そういった方法でやっていきたいと思いますが
375	佐藤	はい
376	山田	あの よろしい ですか
377	佐藤	はい よろしくお願いします
378	山田	何か あの 心配ごととか疑問な事とかがあったら 遠慮なく
379	佐藤	そうですね とくに無いですね
380	山田	あ じゃあ えーとですね ん その 観察 を色々
381	佐藤	はい
382	山田	身体 観察 体の観察をしますので
383	佐藤	はい
384	山田	あの それが あの 出来るように えーと 上半身ですね
385	佐藤	はい
386	山田	あの ちょっと こう 見えるように

387	佐藤	あ はい
388	山田	あの なってもらえますか
389	佐藤	あ 普通に 服も 上
390	山田	あ そうですね
391	佐藤	脱いじゃって
392	山田	うん お願いします で こちらにですね
393	佐藤	はい
394	山田	あの 入れて下さったら結構なので
395	佐藤	あ はい